評価指標(市町村用)

目次

1.	地域包括ケアシステムの構築・推進	. 3
2.	組織・運営体制	. 4
3.	総合相談支援事業	. 7
4.	権利擁護事業	10
5.	包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	11
6.	地域ケア会議	13
7.	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援	17
8.	包括的支援事業(社会保障充実分)	20

1. 地域包括ケアシステムの構築・推進

		活動目標		取組内容 (ストラクチャー、プロセス、中間アウトカム)	趣旨・考え方	留意点	時点	種別
1	1	市町村の目指して	Α	市町村および日常生活圏域の高齢者等に	わがまちの地域包括	・具体的な見直しを実施しない場合も、見直しについて	評価実施年	段階
		いる地域包括ケア		関する分析結果や地域課題等をもとに、	ケアシステムの構築	協議し、かつ、その記録(協議内容に関する議事メモ	の4月末時	
		システムの構築に		センター数や設置形態等を協議し見直し	を推進するために、そ	等)が残されている場合に、項目を満たしているもの	点の状況	
		おいて、市町村が計		ているか	の中核拠点であるセ	として取り扱う。		
		画的にセンターを			ンターの課題や強み			
		活用する	В	市町村における介護保険事業全体の取組	を把握したうえで、計	・協議方法は不問だが、協議の記録(協議内容に関する	評価実施年	
				状況を踏まえ、センターが担う業務を協	画的にセンターの機	議事メモ等)が残されている場合に、項目を満たして	の4月末時	
				議しているか	能強化を図り、活用し	いるものとして取り扱う。	点の状況	
					ているかを評価する。			
			С	市町村の総合評価結果や評価分野別評価		・具体的な見直しを実施しない場合も、見直しについて	評価実施年	
				結果をもとに、センター機能を強化する		協議し、かつ、その記録(協議内容に関する議事メモ	の4月末時	
				ための取組の見直しを行っているか		等)が残されている場合に、項目を満たしているもの	点の状況	
						として取り扱う。		
			D	【市町村により選択】		・重層的支援体制整備事業などによって包括的支援体制	評価実施年	
				センターの機能や実績を踏まえて、包括		を計画する際に、センターの実績等を把握したうえ	の4月末時	
				的支援体制における役割等を決めている		で、その機能を最大限活用する役割等を決めている場	点の状況	
				か		合に、項目を満たしているものとして取り扱う。		
						・重層的支援体制整備事業以外の例としては、多機関連		
						携による総合相談支援の体制において、地域包括支援		
						センターの役割を決めている場合などが該当する。		

2. 組織・運営体制

		活動目標		取組内容 (ストラクチャー、プロセス、中間アウトカム)	趣旨・考え方	留意点	時点	種別
2	1	評価結果およびそ	Α	(各) センターの総合評価結果や評価分	評価結果をもとに、セ	・協議方法は不問だが、協議の記録(協議内容に関する	前年度実績	並列
		れをもとにした運		野別評価結果をもとに、センター機能を	ンターの現状や課題	議事メモ等)が残されている場合に、項目を満たして		
		営協議会の議論や		強化するため、センターごとの運営方針	を把握したうえで、セ	いるものとして取り扱う。		
		センターとの協議		や支援・指導方針を協議しているか	ンターが最大限機能	・複数のセンターを設置している場合には、前年度の各		
		を踏まえて、事業の			できるように運営協	センターの得点等の評価結果をもとに、特に配慮が必		
		実施方針や支援・指			議会やセンターと協	要なセンターに対する運営方針等を協議している場		
		導方針を策定し、そ			議を行い、事業の実施	合にも、項目を満たしているものとして取り扱う。		
		れを実施できる予	В	前年度の評価結果に関する運営協議会で	方針や支援・指導方針	・センターの評価結果を運営協議会に報告して、その課	前年度実績	
		算を確保する		の検討を踏まえて、センターの事業の実	を策定し、実際にそれ	題等について検討することが前提であり、その結果を		
				施方針や支援・指導方針を策定している	を実施できる予算を	もとに策定している場合に、項目を満たしているもの		
				か	確保しているかを評	として取り扱う。		
			С	センターが実施方針に則った事業運営が	価する。	・実施方針に則って事業を行うために、受託法人がセン	前年度実績	
				できるように、運営予算を毎年見直し、		ター予算を補填している場合は、項目を <u>満たしていな</u>		
				確保しているか		<u>い</u> ものとして取り扱う。		
						・具体的な見直しをしない場合も、協議し、かつ、その		
						記録(協議内容に関する議事メモ等)が残されている		
						場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。		
			D	年度ごとのセンターの事業計画の策定に		・協議方法は不問だが、協議の記録(協議内容に関する	前年度実績	
				あたり、センターと協議を行っているか		議事メモ等)が残されている場合に、項目を満たして		
						いるものとして取り扱う。		
3	2	実施方針に基づい	Α	センターの人材確保や定着を進めるため	実施方針に基づきセ	・例えば、運営協議会において、センターの人材確保や	評価実施年	並列
		てセンターが効果		の取組を行っているか	ンターが効果的に運	定着を図るための調整を行っている場合などに、項目	の4月末時	
		的に運営できるよ			営するために必要な	を満たしているものとして取り扱う。	点の状況	
		うに、人員配置や人	В	評価結果やヒアリングなどからセンター	人材の状況を把握し	・研修の主催者、内容、時間数は問わない。	評価実施年	
		材育成に取り組む		のニーズを把握し、それをもとにセンタ	たうえで、必要に応じ	・研修の計画を文書等で作成している場合に、項目を満	の4月末時	
				一職員の資質向上のための研修を計画し	た人材確保、人員配	たしているものとして取り扱う。	点の状況	
				ているか	置、人材育成および業			

			С	センターの業務効率化を目的に、センタ	務効率化等を行なっ	・例えば、介護予防サービス計画等のデータ連携のため	評価実施年	
				一業務に ICT を導入しているか	ているかを評価する。	のシステム、センター間等の総合相談支援業務の効果	の4月末時	
						的な実施のためのデータ共有システム、オンライン相	点の状況	
						談等のためのタブレット端末、音声入力による記録作		
						成、地域住民がセンターに気軽に相談できる体制整備		
						のためのチャットボット、センター業務の効率化を図		
						るための AI の導入などが該当する。		
			D	【市町村により選択】		・複数圏域で合算した3職種の配置のほか、市町村がセ	評価実施年	
				センターの人員確保の現状を踏まえ、複		ンターの実情に応じて職員を常勤換算方法等により	の4月末時	
				数圏域で合算した3職種の配置とするな		柔軟に配置している場合も、項目を満たしているもの	点の状況	
				ど柔軟な職員配置に取り組んでいるか		として取り扱う。		
4	3	高齢者等が必要な	Α	市町村の広報紙とホームページなどでセ	高齢者等が必要な時	・少なくとも広報紙とホームページで周知を行っている	評価実施年	段階
		時にセンターを利		ンターを周知しているか	にセンターを利用で	場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。	の4月末時	
		用できるように、セ			きるように、高齢者を		点の状況	
		ンターの周知を行	В	介護サービス情報公表システムでセンタ	はじめとした様々な	・具体的な公表項目は、名称及び所在地、法人名、営業	評価実施年	
		う		一を周知しているか	地域住民がセンター	日及び営業時間、担当区域、職員体制、事業の内容、	の4月末時	
					の存在やサービス等	活動実績等。	点の状況	
			С	その他、対象に応じた様々な方法でセン	を知ることができる	・市町村の広報紙、ホームページ、介護サービス情報公	前年度実績	
				ターを周知しているか	よう周知を行なって	表システム以外の方法で、世代や属性に応じた周知を		
					いるかを評価する。	行っている場合に、項目を満たしているものとして取		
						り扱う。		
						・具体的な公表項目は、名称及び所在地、法人名、営業		
						日及び営業時間、担当区域、職員体制、事業の内容、		
						活動実績等。		
			D	【市町村により選択】		・センターの認知度が十分ではない場合は、その原因を	前年度実績	
				センターの認知度を踏まえて効果的な周		分析し、状況に合った周知方法(例えば、世代や属性		
				知を計画しているか		に応じ、戦略的に周知の仕方を変えるなど) を協議し、		
						記録に残している場合に、項目を満たしているものと		
						して取り扱う。		

5	4	【市町村により選択】	* 中	間アウトカム指標*	センターの周知に関	<記載方法の例>	左記参照	_
		地域包括支援センター	-の認	知度	する取組の結果を評	・直近で実施した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」		
					価する。	における地域包括支援センターの認知度の割合(「知		
						っている」の割合)を記載する。		
6	5	センターが個人情	Α	個人情報保護に関する市町村の取扱方針	センターが個人情報	・データまたは紙面で整備され、かつセンターと共有し	評価実施年	並列
		報保護等に留意し		をセンターと共有しているか	保護等に留意しなが	ている場合に、項目を満たしているものとして取り扱	の4月末時	
		ながら運営できる			ら運営し、必要に応じ	う。	点の状況	
		ように体制支援を	В	個人情報漏えいが起こった際の対応策を	て苦情やカスタマー・	・データまたは紙面で整備され、かつセンターと共有し	評価実施年	
		行う		センターと共有しているか	ハラスメント等に対	ている場合に、項目を満たしているものとして取り扱	の4月末時	
					応できる体制構築を	う。	点の状況	
			С	苦情内容の記録等、苦情対応に関する市	支援しているかを評	・データまたは紙面で整備され、かつセンターと共有し	評価実施年	
				町村の方針をセンターと共有しているか	価する。	ている場合に、項目を満たしているものとして取り扱	の4月末時	
						う。	点の状況	
			D	利用者や家族からのカスタマー・ハラス		・以下のいずれかを行っている場合に、項目を満たして	前年度実績	
				メントにセンターが対応できるよう支援		いるものとして取り扱う。		
				しているか		①利用者や家族からのクレーム等が社会通念上不相当		
						であり、これによってセンター業務が阻害されるよう		
						なカスタマー・ハラスメントを予防する取組		
						②センターがカスタマー・ハラスメントを受けた際の対		
						応の支援		
						③介護サービス事業者等がカスタマー・ハラスメントを		
						受けた際のセンターにおける相談対応への支援		
7	6	センター指標の		センター指標の「2.組織・運営体制」に	- - 関するアウトプット指標	要または中間アウトカム指標を市町村が設定しているか でんぱん かんしゅう しゅうしゅう しゅう	評価実施年	-
		「2.組織・運営体		→ 設定している場合、具体的に指標を訂	己入()	の4月末時	
		制」に関するアウト					点の状況	
		プット指標または						
		中間アウトカム指						
		標を市町村が設定						
		する						

3. 総合相談支援事業

		活動目標		取組内容 (ストラクチャー、プロセス、中間アウトカム)	趣旨・考え方	留意点	時点	種別
8	1	センターが総合相	Α	総合相談支援事業に関するセンターの後	センターが総合相談、	・例えば、基幹型センターや機能強化型センターの設置、	評価実施年	並列
		談支援事業を適切		方支援体制を構築しているか	地域包括支援ネット	市町村のセンター担当部署などによるセンターの後	の4月末時	
		に実践できるよう、			ワーク構築、実態把握	方支援体制がある場合に、項目を満たしているものと	点の状況	
		総合相談支援体制			等の総合相談支援事	して取り扱う。		
		の構築に取り組む	В	センターに対して、夜間・早朝または平	業を効果的に実施す	・センターに対して夜間・早朝または平日以外の窓口(連	評価実施年	
				日以外の窓口(連絡先)の設置を義務づ	ることができるよう	絡先)の設置を義務づけ、ホームページ等で周知して	の4月末時	
				け、市町村やセンターのホームページ等	に体制構築ができて	いる場合に、項目を満たしているものとして取り扱	点の状況	
				で周知しているか	いるかを評価する。	う。		
						・窓口の設置のほか、緊急連絡先の設定等でも「窓口(連		
						絡先)の設置」とみなす。例えば、携帯電話等へ電話		
						転送を行っている場合も、「窓口(連絡先)の設置」と		
						みなす。		
			С	センターからの相談事例に関する支援要		・対応が困難な相談事例等への対処について、市町村と	前年度実績	
				請に対応しているか		センターが日頃から連携体制を構築しており、かつ、		
						対応実績があった場合に、項目を満たしているものと		
						して取り扱う。		
			D	市町村レベルの関係団体(民生委員等)		・関係団体とは民生委員、介護サービス事業者、高齢者	前年度実績	
				の会議に定期的に参加しているか		の日常生活支援活動に携わるボランティア等を指す		
						が、そのうち少なくとも民生委員の会議に参加してい		
						る場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。		
						・民生委員の会議がない場合は、自治会等の会議に参加		
						している場合に、項目を満たしているものとして取り		
						扱う。		
			E	【市町村により選択】		・ブランチ等には、地域包括支援センターのブランチ、	評価実施年	
				日常生活圏域ごとの相談支援ニーズ等を		サブセンター、地域密着型サービス事業所、居宅介護	の4月末時	
				センターが効果的に受け止められるよう		支援事業所、その他介護サービス事業所などが該当す	点の状況	
				ブランチ等を戦略的に活用しているか		る。		

9	2	センターにおける	Α	センターにおける相談事例の分類方法を	センターの総合相談	・市町村として相談事例の分類方法の統一を図り、相談	前年度実績	並列
		相談件数や相談内		定め、相談件数や相談内容の特徴を把握	支援の実績を踏まえ	件数や相談内容の特徴をデータまたは紙面で把握し		
		容を把握して、相談		しているか	て、より効果的な総合	ている場合に、項目を満たしているものとして取り扱		
		支援体制の改善を			相談支援ができるよ	う。		
		図る			うに、体制を改善して	・相談内容の類型化、経年分析等、整理手法は問わない。		
					いるかを評価する。			
			В	センターが対応した家族介護者等からの		・相談件数・相談内容の把握方法や取りまとめの方法に	前年度実績	
				相談について、相談件数や相談内容の特		ついては問わない。		
				徴を把握しているか				
			С	センターと協議しつつ、センターにおい		・相談事例の終結条件とは、「相談者の主訴が解決し、主	評価実施年	
				て受けた相談事例の終結条件を定めてい		訴以外の困難な問題がない場合」、「センター以外の適	の4月末時	
				るか		切な機関につなげ、適切な引き継ぎが確認された場	点の状況	
						合」、「後見人が選任された場合」、「虐待の解消及び再		
						燃リスクが消失した場合」等、受けた相談事例の進捗		
						管理を行うために、市町村とセンターが共通の条件を		
						定めること。		
						・相談事例の終結条件を定め、データまたは紙面で整備		
						されている場合に、項目を満たしているものとして取		
						り扱う。		
						・終結条件を定めることで、相談事例の課題に対し、支		
						援の方針が明確化されるとともに、センター以外の適		
						切な機関や地域等で相談者を支える体制が構築され		
						る。		
			D	【市町村により選択】		・相談件数や相談内容を分析し、例えば、複合的課題に	前年度実績	
				センターにおける相談件数や相談内容を		関する内容が多い場合には、包括的支援体制を構築す		
				分析して、その分析結果をもとに相談支		るなどして、相談支援体制を改善している場合に、項		
				援体制を改善しているか		目を満たしているものとして取り扱う。		

10	3	センター指標の	センター指標の「3. 総合相談支援事業」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定しているか	評価実施年	_
		「3. 総合相談支援	→ 設定している場合、具体的に指標を記入()	の4月末時	
		事業」に関するアウ		点の状況	
		トプット指標また			
		は中間アウトカム			
		指標を市町村が設			
		定する			

4. 権利擁護事業

		活動目標		取組内容 (ストラクチャー、プロセス、中間アウトカム)	趣旨・考え方	留意点	時点	種別
11	1	センターが権利擁	Α	成年後見制度の市町村長申立てに関する	市町村の責務を踏ま	・データまたは紙面で整備され、かつセンターと共有し	評価実施年	並列
		護事業を遂行する		判断基準をセンターと共有しているか	え、センターが権利擁	ている場合に、項目を満たしているものとして取り扱	の4月末時	
		ための体制構築に			護事業を適切に実施	う。	点の状況	
		取り組む	В	高齢者虐待事例及び高齢者虐待が疑われ	できるようにするた	・対応の流れを明確にするためにフローチャート形式で	評価実施年	
				る事例への対応の流れを整理し、センタ	めの体制を構築して	整理するなど、データまたは紙面で整備され、かつセ	の4月末時	
				一と共有しているか	いるかを評価する。	ンターと共有している場合に、項目を満たしているも	点の状況	
						のとして取り扱う。		
			С	センターまたは市町村が開催する高齢者		・会議開催の実績が無い場合、速やかに対応策が検討で	前年度実績	
				虐待防止に関する情報共有、議論及び報		きる体制を整備していれば、項目を満たしているもの		
				告等を行う会議において、高齢者虐待事		として取り扱う。		
				例への対応策を検討しているか				
			D	消費生活に関する相談窓口及び警察に対		・データまたは紙面で協力依頼を行っている、または協	評価実施年	
				して、センターとの連携についての協力		力を依頼した記録が残っている場合に、項目を満たし	の4月末時	
				依頼を行っているか		ているものとして取り扱う。	点の状況	
12	2	センター指標の		センター指標の「4.権利擁護事業」に関	関するアウトプット指標ま	たは中間アウトカム指標を市町村が設定しているか	評価実施年	_
		「4. 権利擁護事		→ 設定している場合、具体的に指標を記	己入()	の4月末時	
		業」に関するアウト					点の状況	
		プット指標または						
		中間アウトカム指						
		標を市町村が設定						
		する						

5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

		活動目標		取組内容 (ストラクチャー、プロセス、中間アウトカム)	趣旨・考え方	留意点	時点	種別
13	1	センターが包括的・	Α	日常生活圏域ごとの居宅介護支援事業所	センターが介護支援	・センターにデータまたは紙面で提供している場合に、	評価実施年	並列
ı		継続的ケアマネジ		のデータ(事業所ごとの主任介護支援専	専門員への個別ケア	項目を満たしているものとして取り扱う。	の4月末時	
ı		メント支援事業を		門員・介護支援専門員の人数等)を把握	マネジメント支援と		点の状況	
ı		適切に行うための		し、センターに情報提供しているか	環境整備を適切に行			
ı		体制を支援する	В	介護支援専門員を対象に、包括的・継続	えるように体制を支	・センターにデータまたは紙面で提供している場合に、	前年度実績	
ı				的ケアマネジメントを行うための課題や	援できているかを評	項目を満たしているものとして取り扱う。		
ı				支援などに関するアンケートや意見収集	価する。			
				を行い、センターに情報提供を行ってい				
				るか				
			С	地域の介護支援専門員の実践力向上を図		・開催状況について、データまたは紙面で整備している	前年度実績	
ı				ることなどを目的とした、地域ケア会議		場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。		
				や事例検討等を行うことができるよう				
				に、 <u>センター職員を対象とした</u> 研修会を				
				開催しているか				
			D	センターが介護支援専門員から受けた相		・センターが介護支援専門員から受けた相談事例内容の	評価実施年	
				談事例の内容を整理・分類し、経年的に		整理・分類、経年的件数(概ね3年程度)の把握、か	の4月末時	
				件数を把握するとともに、そのニーズに		つ、それを踏まえた介護支援専門員対象の研修会の計	点の状況	
				応じた <u>介護支援専門員を対象とした</u> 研修		画を、データまたは紙面で整備している場合に、項目		
l				会等を計画しているか		を満たしているものとして取り扱う。		
l						・この研修会の計画は、センターと協議して行っていれ		
						ば、市町村またはセンターのどちらが主催でも、項目		
l						を満たしているものとして取り扱う。		
			Е	介護支援専門員のニーズに基づいて、多		・介護支援専門員のニーズに基づいた関係者との意見交	前年度実績	
				様な関係機関・関係者(例:医療機関や		換の場を通じ、顔の見える関係を築いているかを問う		
				地域における様々な社会資源など)との		ものであり、在宅医療・介護連携推進事業等の枠組み		
				意見交換の場を市町村が設けているか		で実施するものや、都道府県主催のものも対象とする		
						対象とする。ただし、地域ケア会議は含まない。		

14	2	センター指標の	センター指標の「5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を	評価実施年	_
		「5.包括的・継続	市町村が設定しているか	の4月末時	
		的ケアマネジメン	→ 設定している場合、具体的に指標を記入()	点の状況	
		ト支援事業」に関す			
		るアウトプット指			
		標または中間アウ			
		トカム指標を市町			
		村が設定する			

6. 地域ケア会議

		活動目標		取組内容 (ストラクチャー、プロセス、中間アウトカム)	趣旨・考え方	留意点	時点	種別
15	1	地域ケア会議のす	Α	各レベルに(一つのレベルであっても多	地域ケア会議の5つ	・レベルごと(個別ケースを検討する個別レベル、日常	評価実施年	並列
		べての機能を発揮		様な機能を果たす)地域ケア会議を設置	の機能(①個別課題解	生活圏域レベル、市町村レベルなど)に地域ケア会議	の4月末時	
		する地域ケア会議		し、それぞれが連動する体系をつくって	決機能、②ネットワー	を設置し、個別ケースの検討から地域課題や自立促進	点の状況	
		の体系を構築し、す		いるか	ク構築機能、③地域課	要因を発見し(個別レベル)、日常生活圏域レベルや市		
		べての機能を果た			題発見機能、④地域づ	町村レベルの地域ケア会議で地域課題への対応等を		
		す			くり・資源開発機能、	検討することができている場合に、項目を満たしてい		
					⑤政策形成機能) すべ	るものとして取り扱う。		
					てが発揮されるよう	・なお、市町村の規模によっては一つのレベルの地域ケ		
					その体系を構築して	ア会議ですべての機能を果たす方が適切な場合もあ		
					いるか、また、高齢者	るため、同様のことができていれば、一つのレベルの		
					個人に対する支援の	地域ケア会議のみの設置でも項目を満たしているも		
					充実と地域包括ケア	のとして取り扱う。		
			В	地域課題や自立促進要因を把握・整理・	システムの構築を同	・個別ケースを検討する地域ケア会議(地域ケア個別会	評価実施年	
				仕分けする場を設けているか	時に推進するために、	議)で検討した複数の個別事例を整理・分析して、地	の4月末時	
					すべての機能が果た	域課題や自立促進要因を抽出し、対応する優先順位を	点の状況	
					されているかを評価	判断したうえで、その後の対応の方向性を計画する機		
					する。	会(地域ケア会議や市町村とセンターの意見交換会な		
						ど)を設けている場合に、項目を満たしているものと		
						して取り扱う。		
			С	地域ケア会議と他の会議や事業とが連動		・地域ケア会議を活用して把握した地域課題について、	評価実施年	
				する体系をつくっているか		運営協議会や、生活支援体制整備事業、介護予防・日	の4月末時	
						常生活支援総合事業、認知症総合支援事業、在宅医療・	点の状況	
						介護連携推進事業などの事業等につなげて対応でき		
						るような仕組みになっている場合に、項目を満たして		
						いるものとして取り扱う。		

日 日 日 日 日 日 日 日 日 日									
地域関語発見機能、係地域づくり・資温 開発機能、医政策形成機能)すべてが果たされているか と 地域ケア会議の運営を評価して体系を見 直しているか 地域ケア会議の運営に関して振り扱う。 地域ケア会議の体系の見直しの必要性を認識し、検討しているものとして取り扱う。 地域ケア会議の体系の見直しの必要性を認識し、検討しているものとして取り扱う。 地域ケア会議の体系の見直しの必要性を認識し、検討しているものとして取り扱う。 地域ケア会議の体系の見直しの必要性を認識し、検討しているものとして取り扱う。 地域ケア会議の体系の見直しの必要性を認識し、検討しているものとして取り扱う。 地域ケア会議の体系の見面との必要性を認識し、検討している体のをして取り扱う。 地域ケア会議の体系の見面との必要性を認識し、検討している体の発展も該当する。 地域ケア会議の体系の目の必要性を認識し、検討している特別を構業し、				D	地域ケア会議の5つの機能(①個別課題		・すべての地域ケア会議を活用することによって、地域	評価実施年	
開発機能、⑤政策形成機能)すべてが果たされているか ・地域ケア会議の運営を評価して体系を見直しているか ・地域ケア会議の運営を評価して体系を見直しているものとして取り扱う。 ・地域ケア会議の体系や目的、機能、構成					解決機能、②ネットワーク構築機能、③		ケア会議のすべての機能を果たしている場合に、項目	の4月末時	
たされているか 10					地域課題発見機能、④地域づくり・資源		を満たしているものとして取り扱う。	点の状況	
世域ケア会議の運営を評価して体系を見しているか ・地域ケア会議の運営に関して扱り扱う。					開発機能、⑤政策形成機能)すべてが果				
直しているか					たされているか				
しているものとして取り扱う。 地域ケア会議の選				Е	地域ケア会議の運営を評価して体系を見		・地域ケア会議の運営に関して振り返りやアンケート調	前年度実績	
地域ケア会議の体系の見直しの必要性を認識し、検討している段階も該当する。					直しているか		査等を行い、体系を見直している場合に、項目を満た		
16 2 地域ケア会議の運 2 地域ケア会議の体系や目的、機能、構成 地域ケア会議を有効 地域ケア会議の体系や目的、機能、構成員、スケジュ 評価実施年 立列 立列 立列 立列 立列 立列 立列 立							しているものとして取り扱う。		
16 2 地域ケア会議の運 一地域ケア会議の体系や目的、機能、構成 地域ケア会議を有効 一ル等が示された開催計画を、地域ケア個別会議及び 一ル等が示された開催計画を、地域ケア個別会議及び 一ル等が示された開催計画を、地域ケア個別会議及び 一ル等が示された開催計画を、地域ケア個別会議及び 一ル等が示された開催計画を、地域ケア個別会議及び 一ル等が示された開催計画を、地域ケア個別会議及び 一ル等が示された開催計画を、地域ケア個別会議及び 一ル等が示された開催計画を、地域ケア個別会議及び 一ル等が示された開催 一ル等が示された開催計画を、地域ケアを開放 点の状況 「一本できているかを評価する。 一・地域ケアへのといるのとして取り 扱う。スケジュールは、開催頻度等の目安を示している場合も該当する。 一・地域ケアの側の会議及び地域ケア推進会議のいずれにつ 評価実施年 の4月末時 点の状況 「一本でする。 一・地域ケアの側の会議及び地域ケア推進会議のいずれにつ 評価実施年 の4月末時 点の状況 「一本でする。」 一本では、前面でセンターの役割分担と連携方法を明確にし、データまたは紙面でセンターと共有しているものとして取り扱う。 一個人情報の取扱方針を定め、データまたは紙面でセンターと共有し、かつ市町村がそれに則り地域ケア会議で対応している場合に、項目を満たしている場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。 一本で対応している場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。 議事録等をデータまたは紙面でまとめ、共有している 評価実施年 の4月末時 小学の手がには紙面でまとめ、共有しているものとして取り扱う。 ・議事録等をデータまたは紙面でまとめ、共有している 評価実施年 の4月末時 日本のよりに取り扱う。 日本のよりに取り扱う。 ・議事録等をデータまたは紙面でまとめ、共有している 評価実施年 の4月末時 日本のよりに取り扱う。 日本のよりに取り扱う。 ・議事録等をデータまたは紙面でまとめ、共有している 評価実施年 の4月末時 日本のよりに取り扱う。 日本のよりに取り扱う。 日本のよりに取り扱う。 日本のよりに取り扱う。 日本のよりに取り扱う。 日本のよりに取り扱う。 日本のよりに取り扱うに取り扱うに取り扱う。 日本のよりに対しているものとして取り扱う。 日本のよりに対している場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。 日本のよりに取り扱うに取り扱うに対しているよりに対しているように対しているよりに対しているといるといるといるといるといるよりに対しているといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるといるとい							・地域ケア会議の体系の見直しの必要性を認識し、検討		
常の仕組みを構築 し、関係者に周知する 一・や関係機関に示しているか 「に活用するための運 当の仕組みを構築し、 センターや関係者と 共有できているかを 評価する。 「地域ケア会議の運営に関してセンターと の役割分担と連携方法を関係者と共有しているか 「センターと協力し、地域ケア会議における個人情報の取扱方針を定め、センターと共有するとともに、市町村が主催する 「地域ケア会議の減済性を対応しているか 」 ・地域ケアと協力し、地域ケア会議における個人情報の取扱方針を定め、センターと共有するとともに、市町村が主催する 地域ケア会議で対応しているか 「・個人情報の取扱方針を定め、データまたは紙面でセンターと共有しているものとして取り扱う。 ・個人情報の取扱方針を定め、データまたは紙面でセンターと共有しているものとして取り扱う。 ・個人情報の取扱方針を定め、データまたは紙面でセンターと共有しているものとして取り扱う。 ・個人情報の取扱方針を定め、データまたは紙面でセンターと共有しているものとして取り扱う。 ・個人情報の取扱方針を定め、データまたは紙面でセンターと共有しているものとして取り扱う。 ・ 個人情報の取扱方針を定め、データまたは紙面でない。 ・ で対応している場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。 ・ 議事録等をデータまたは紙面でまとめ、共有している 神域ケア食譲で対応している場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。 ・ 議事録等をデータまたは紙面でまとめ、共有している場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。							している段階も該当する。		
し、関係者に周知する	16	2	地域ケア会議の運	Α	地域ケア会議の体系や目的、機能、構成	地域ケア会議を有効	・地域ケア会議の体系や目的、機能、構成員、スケジュ	評価実施年	並列
を			営の仕組みを構築		員、スケジュール等の開催計画をセンタ	に活用するための運	ール等が示された開催計画を、地域ケア個別会議及び	の4月末時	
共有できているかを 評価する。 している場合に、項目を満たしているものとして取り 扱う。スケジュールは、開催頻度等の目安を示している場合も該当する。 ・地域ケア会議の運営に関してセンターと の役割分担と連携方法を関係者と共有しているか ・地域ケアの役割分担と連携方法を関係者と共有しているか ・個人情報の取扱方針を定め、センターと と共有するとともに、市町村が主催する 地域ケア会議で対応しているか ・個人情報の取扱方針を定め、データまたは紙面でセンターと共有しているものとして取り扱う。 ・個人情報の取扱方針を定め、データまたは紙面でセン 評価実施年 ターと共有し、かつ市町村がそれに則り地域ケア会議 の4月末時で対応している場合に、項目を満たしているものとし 点の状況 て取り扱う。 ・ 機事録等をデータまたは紙面でまとめ、共有している ・ 機事録等をデータまたは紙面でまとめ、共有している にの状況 で対応している場合に、項目を満たしているものとし 点の状況 で対応している場合に、項目を満たしているものとし 点の状況 で対応している場合に、項目を満たしているものとし 点の状況 で対応している場合に、項目を満たしているものとし 点の状況 で対応している場合に、項目を満たしているものとし 点の状況 で対応している場合に、項目を満たしているものとし 点の状況 で対応している場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。 ・ 機事録等をデータまたは紙面でまとめ、共有している いる4月末時			し、関係者に周知す		一や関係機関に示しているか	営の仕組みを構築し、	地域ケア推進会議のいずれについてもデータまたは	点の状況	
評価する。			る			センターや関係者と	紙面で示し、少なくとも構成員が所属する団体へ周知		
お場合も該当する。 ・地域ケア会議の運営に関してセンターと ・地域ケア会議の運営に関してセンターと ・の役割分担と連携方法を関係者と共有し いても、市町村とセンターの役割分担と連携方法を明 の4月末時 点の状況 場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。 ・個人情報の取扱方針を定め、センターと共有するとともに、市町村が主催する 世域ケア会議で対応しているか 地域ケア会議で対応しているか 地域ケア会議で対応しているか ・議事録等をデータまたは紙面でまとめ、共有している 京の状況 で対応している場合に、項目を満たしているものとし 京の状況 で対応している場合に、項目を満たしているものとし 京の状況 で対応している場合に、項目を満たしているものとし 京の状況 で対応している場合に、項目を満たしているものとし 京の状況 で対応しているものとし 京の状況 で対応しているものとし 京の状況 で対応しているものとして取り扱う。 ・議事録等をデータまたは紙面でまとめ、共有している 評価実施年 場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。 の4月末時 場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。 の4月末時 日本語 日本語						共有できているかを	している場合に、項目を満たしているものとして取り		
田 地域ケア会議の運営に関してセンターとの役割分担と連携方法を関係者と共有しているか						評価する。	扱う。スケジュールは、開催頻度等の目安を示してい		
の役割分担と連携方法を関係者と共有しているか							る場合も該当する。		
でいるか 確にし、データまたは紙面でセンターと共有している 点の状況 場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。 「他人情報の取扱方針を定め、データまたは紙面でセン 評価実施年 る個人情報の取扱方針を定め、センター と共有するとともに、市町村が主催する 地域ケア会議で対応しているか で対応している場合に、項目を満たしているものとし 点の状況 に取り扱う。 「地域ケア会議の議事録や検討事項を構成 員全員が共有するための仕組みを構築し 場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。 の4月末時 場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。 の4月末時				В	地域ケア会議の運営に関してセンターと		・地域ケア個別会議及び地域ケア推進会議のいずれにつ	評価実施年	
場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。 C センターと協力し、地域ケア会議における個人情報の取扱方針を定め、センターと共有するとともに、市町村が主催する地域ケア会議で対応しているか D 地域ケア会議の議事録や検討事項を構成員全員が共有するための仕組みを構築し 場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。 ・					の役割分担と連携方法を関係者と共有し		いても、市町村とセンターの役割分担と連携方法を明	の4月末時	
C センターと協力し、地域ケア会議における個人情報の取扱方針を定め、センターと共有し、かつ市町村がそれに則り地域ケア会議のよりを定め、センターと共有し、かつ市町村がそれに則り地域ケア会議の大力を定め、カイ月末時で対応している場合に、項目を満たしているものとしなの状況を対域ケア会議で対応しているか ・個人情報の取扱方針を定め、データまたは紙面でセン 評価実施年の4月末時で対応している場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。 D 地域ケア会議の議事録や検討事項を構成員全員が共有するための仕組みを構築し ・議事録等をデータまたは紙面でまとめ、共有しているものとして取り扱う。 評価実施年の4月末時の4月末時の4月末時の4月末時の4月末時の4月末時の4月末時の4月末時					ているか		確にし、データまたは紙面でセンターと共有している	点の状況	
る個人情報の取扱方針を定め、センターと共有し、かつ市町村がそれに則り地域ケア会議の大田で対応している場合に、項目を満たしているものとしたの状況を対応しているかという。 D 地域ケア会議の議事録や検討事項を構成しているものとして取り扱う。 の4月末時に対応しているものとして取り扱う。 ・議事録等をデータまたは紙面でまとめ、共有しているものとして取り扱う。 の4月末時に対応年には、項目を満たしているものとして取り扱う。 の4月末時に対応を構築し							場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。		
と共有するとともに、市町村が主催する 地域ケア会議で対応しているか D 地域ケア会議の議事録や検討事項を構成 員全員が共有するための仕組みを構築し で対応している場合に、項目を満たしているものとし で対応している場合に、項目を満たしているものとし で対応している場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。 で対応している場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。 の4月末時				С	センターと協力し、地域ケア会議におけ		・個人情報の取扱方針を定め、データまたは紙面でセン	評価実施年	
地域ケア会議で対応しているか て取り扱う。					る個人情報の取扱方針を定め、センター		ターと共有し、かつ市町村がそれに則り地域ケア会議	の4月末時	
D 地域ケア会議の議事録や検討事項を構成 員全員が共有するための仕組みを構築し 場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。 の4月末時					と共有するとともに、市町村が主催する		で対応している場合に、項目を満たしているものとし	点の状況	
員全員が共有するための仕組みを構築し 場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。 の4月末時					地域ケア会議で対応しているか		て取り扱う。		
				D	地域ケア会議の議事録や検討事項を構成		・議事録等をデータまたは紙面でまとめ、共有している	評価実施年	
ているか 点の状況					員全員が共有するための仕組みを構築し		場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。	の4月末時	
					ているか			点の状況	

	Ţ					I	1
7 3	地域ケア会議を有	Α	地域ケア会議において、多職種と連携し	個別ケース検討によ	・地域ケア個別会議において、多様な専門職や民生委員	前年度実績	並列
	効に活用する		て、自立支援・重度化防止等に資する観	る高齢者の自立支援	等とともに、自立支援・重度化防止の観点から課題の		
			点から個別事例の検討を行い、対応策を	に資するケアマネジ	明確化、目標や優先順位の検討・決定、モニタリング		
			講じているか	メントの支援やネッ	方法の検討・決定等を行った場合に、項目を満たして		
				トワーク構築、そして	いるものとして取り扱う。		
				把握した地域課題へ	・市町村主催の地域ケア個別会議を設置していない場合		
				の対応等を行えるよ	でも、センター主催の地域ケア会議で対応できていれ		
				うに、地域ケア会議を	ば、項目を満たしているものとして取り扱う。		
		В	生活援助の訪問回数の多いケアプラン	活用できているかを	・地域ケア個別会議において、自立に資するケアマネジ	前年度実績	
			(生活援助中心のケアプラン) の検証を	評価する。	メントが行われているかを点検し、対応策を検討・決		
			行い、対応策を講じているか		定している場合に、項目を満たしているものとして取		
					り扱う。		
					・市町村主催の地域ケア個別会議を設置していない場合		
					でも、センター主催の地域ケア会議で対応できていれ		
					ば、項目を満たしているものとして取り扱う。地域ケ		
					ア会議以外の方法で実施している場合も該当する。		
		С	地域ケア会議で検討した個別事例につい		・ここでのモニタリングとは、地域ケア会議の結果を踏	前年度実績	
			て、その後の変化等をモニタリングする		まえた実施状況の把握をいう。		
			ルールや仕組みを構築し、かつ、実行し		・会議においてモニタリングが必要とされた事例のすべ		
			ているか		てに対して実施している場合に、項目を満たしている		
					ものとして取り扱う。		
		D	高齢者の自立を促進する要因や阻害要因		・地域ケア会議を活用して把握した自立促進要因や自立	前年度実績	
			を把握して、それをもとに、高齢者の自		阻害要因をもとに、高齢者自立に資する事業の見直し		
			立に資する事業(総合事業や生活支援体		を行った場合に、項目を満たしているものとして取り		
			制整備事業等)の見直しを行っているか		扱う。事業の見直しを検討している段階も含む。		
		Е	複数の個別事例から地域課題を明らかに		・地域課題の解決に必要な政策を市町村主催の地域ケア	前年度実績	
			し、市町村主催の地域ケア推進会議で検		推進会議で検討し、政策形成につなげている場合に、		
			討することで、政策形成につなげている		項目を満たしているものとして取り扱う。検討した政		
			か		策が実施されたかは問わない。		

18	4	地域ケア会議の運	Α	センター主催の個別事例について検討す	地域ケア会議の運営	・センター主催の地域ケア個別会議に市町村が参加して	前年度実績	並列	
ı		営において、センタ		る地域ケア会議(地域ケア個別会議)に	において、市町村がセ	いる場合に、項目を満たしているものとして取り扱			
		一等と協働する		参加しているか	ンターと適切に協働	う。			
ı			В	センター主催の地域課題について検討す	し、かつその成果等を	・センター主催の地域ケア推進会議に市町村が参加して	前年度実績		
ı				る地域ケア会議(地域ケア推進会議)に	関係者や住民に公表	いる場合に、項目を満たしているものとして取り扱			
				参加しているか	しているかを評価す	う。			
			С	センター主催の地域ケア会議で検討され	る。	・センター主催の地域ケア個別会議及び地域ケア推進会	前年度実績		
				た内容を把握しているか		議のいずれについても、データまたは紙面で検討事項			
ı						をまとめたものを共有している場合に、項目を満たし			
ı						ているものとして取り扱う。			
			D	センター主催及び市町村主催も含めた地		・例えば、地域ケア会議を有効に活用するための住民へ	前年度実績		
ı				域ケア会議の検討内容をとりまとめて、		の周知や自立促進要因等の高齢者等への周知のため			
ı				住民向けに公表しているか		に、個人情報の取扱方針に基づき、地域ケア会議の開			
						催状況や検討内容等を年1回以上公表している場合			
						に、項目を満たしているものとして取り扱う。なお、			
						公表の方法は問わない。			
19	5	センター指標の		センター指標の「6. 地域ケア会議」に関	具するアウトプット指標ま	たは中間アウトカム指標を市町村が設定しているか	評価実施年	_	
		「6. 地域ケア会		→ 設定している場合、具体的に指標を記	己入()	の4月末時		
		議」に関するアウト					点の状況		
		プット指標または							
		中間アウトカム指							
		標を市町村が設定							
		する							

7. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援

活動目標		取組内容 (ストラクチャー、プロセス、中間アウトカム)		趣旨・考え方	留意点	時点	種別
20 1	センターや介護支	Α	介護予防ケアマネジメント・介護予防支	センターや介護支援	・予防給付や総合事業の状況、介護予防支援に関する居	評価実施年	並列
	援専門員が介護予		援に関する実態を踏まえ、自立支援・重度	専門員が介護予防ケ	宅介護支援事業所の認識、介護予防サービス計画作成	の4月末時	
	防ケアマネジメン		化防止等に資するケアマネジメントに関	アマネジメント・介護	における課題等の実態を把握し、かつ基本方針を定め	点の状況	
	ト・介護予防支援を		する市町村の基本方針を定め、センター	予防支援を適切に実	てセンターと共有している場合に、項目を満たしてい		
	適切に実施できる		と共有しているか	施できるように、市町	るものとして取り扱う。		
	よう体制を構築す			村として体制を構築	・基本方針には、自立支援・重度化防止に資するケアマ		
	る			しているかを評価す	ネジメントに関して、基本的な考え方、ケアマネジメ		
				る。	ントの類型、実施の手順、具体的なツール(興味・関		
					心チェックシート等)及び多職種の視点(地域ケア会		
					議等)の活用についてすべて記載されていること。		
		В	センター、介護支援専門員、生活支援コ		・センター、介護支援専門員、生活支援コーディネータ	評価実施年	
			ーディネーター、協議体に対して、保険		一、協議体のいずれに対しても情報提供を行っている	の4月末時	
			給付や介護予防・生活支援サービス事業		場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。	点の状況	
			以外の多様な地域の社会資源に関する情				
			報を提供しているか				
		С	利用者のセルフマネジメントを推進する		・介護予防手帳に限らず利用者自身のセルフマネジメン	評価実施年	
			ため、介護予防手帳などの支援の手法を		トに資する手法が市町村から提示され、それをセンタ	の4月末時	
			定め、センターと共有しているか		一が活用している場合に、項目を満たしているものと	点の状況	
					して取り扱う。		
		D	介護予防ケアマネジメント・介護予防支		・月ごとの人員体制及び実施件数について、センターご	前年度実績	
			援におけるセンターの人員体制と実施件		とに把握し、人員配置を見直している場合に、項目を		
			数を把握し、人員配置を見直しているか		満たしているものとして取り扱う。		
					・具体的な見直しを実施しない場合も、見直しについて		
					協議し、かつ、その記録(協議内容に関する議事メモ		
					等)が残されている場合に、項目を満たしているもの		
					として取り扱う。		

			E	介護予防ケアマネジメント・介護予防支		・委託の有無にかかわらず、市町村が作成した指針をセ	評価実施年	
				 援を委託する際の事業所選定について、		 ンターに対し紙面またはデータで共有されている場	の4月末時	
				 公平性・中立性確保のための指針を作成		 合に、項目を満たしているものとして取り扱う。	点の状況	
				 し、センターと共有しているか				
			F	│ │ 介護予防ケアマネジメント・介護予防支			評価実施年	
				 援を居宅介護支援事業所に指定または委		 針をセンターに対しデータまたは紙面で共有してい	の4月末時	
				 託する際のセンターの関与について、市		 る場合に、項目を満たしているものとして取り扱う。	点の状況	
				 町村の指針をセンターと共有しているか				
			G	【市町村により選択】		・地域ケア会議の場を活用した助言は除く。	評価実施年	
				│ │介護予防ケアマネジメント・介護予防支		 ・助言を行う専門職等について、地域包括支援センター	の4月末時	
				援について、リハビリ専門職等、多職種		の3職種は除く。	点の状況	
				からの専門的な助言を得られる体制を整				
				備しているか				
			Н	【市町村により選択】		・相談の有無にかかわらず、体制を整備していれば、項	評価実施年	
				介護予防支援を担う居宅介護支援事業所		目を満たしているものとして取り扱う。	の4月末時	
				から介護予防サービス計画に係る相談を			点の状況	
				随時受け付ける体制を整備しているか				
21	2	介護予防支援の実	Α	介護予防支援の実態を踏まえ、介護予防	介護予防支援の実態	・予防給付の状況、介護予防支援に関する居宅介護支援	評価実施年	段階
		態を踏まえ、介護予		サービス計画の検証方法について、セン	を踏まえて、介護予防	事業所の認識、介護予防サービス計画作成における課	の4月末時	
L		防サービス計画の		ターと協議して方針を打ち出しているか	サービス計画の検証	題等の実態を把握し、センターと協議して、介護予防	点の状況	
L		検証方法を定め運			方法をセンターと協	サービス計画の検証におけるセンターとの役割分担、		
L		営する			議して定め、それに基	検証頻度、提出資料等を定め、それらをデータまたは		
					づき適切に運営して	紙面で整備している場合に、項目を満たしているもの		
					いるかを評価する。	として取り扱う。		
			В	居宅介護支援事業所に対して、介護予防		・データまたは紙面で整備され、かつ居宅介護支援事業	評価実施年	
				サービス計画の検証方法に関する方針を		所に示している場合に、項目を満たしているものとし	の4月末時	
				示しているか		て取り扱う。	点の状況	

_							•	-
			С	介護予防サービス計画の検証を実施した		・データまたは紙面で整備され、かつ、センターや居宅	前年度実績	
				結果について、センターや居宅介護支援		介護支援事業所と共有している場合に、項目を満たし		
				事業所等と共有しているか		ているものとして取り扱う。		
			D	介護予防サービス計画の検証を通じて、		・介護予防サービス計画の検証結果を分析し、課題があ	前年度実績	
				介護予防支援や介護予防サービス計画の		った場合には、課題解消のための対応を行っている場		
				作成に課題がないかを整理し、課題があ		合に、項目を満たしているものとして取り扱う。		
				った場合には、課題解消のための取組を		・分析の結果、課題がなかった場合も、項目を満たして		
				行っているか		いるものとして取り扱う。		
			Е	【市町村により選択】		・利用者の生活・人生を尊重した、利用者の状態の維持・	前年度実績	
				利用者の状態の維持・改善に向けた介護		改善に向けた介護予防サービス計画になるように、個		
				予防サービス計画でない場合、その適正		別ケースを検討する地域ケア会議を活用している場		
				化のために、地域ケア会議を活用してい		合に、項目を満たしているものとして取り扱う。		
				るか		・地域ケア会議の主催は問わない。		
22	3	センター指標の		センター指標の「7. 介護予防ケアマネシ	ジメント・介護予防支援」	に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を	評価実施年	_
		「7. 介護予防ケア		市町村が設定しているか			の4月末時	
		マネジメント・介護		→ 設定している場合、具体的に指標を試	已入()	点の状況	
		予防支援」に関する						
		アウトプット指標						
		または中間アウト						
		カム指標を市町村						
		が設定する						

8. 包括的支援事業(社会保障充実分)

活動目標		取組内容 (ストラクチャー、プロセス、中間アウトカム)		趣旨・考え方	留意点	時点	種別	
23	1	包括的支援事業(社	Α	在宅医療・介護連携推進事業における相	包括的支援事業(社会	・在宅医療・介護連携推進事業による実施か、また、ど	前年度実績	並列
		会保障充実分)を推		談窓口とセンターとの連携・調整が図ら	保障充実分)のセンタ	こが開催しているかは問わない。		
		進するために、セン		れるよう、連携のための会議等の開催と	一委託の有無にかか			
		ターの活動を位置		いった情報共有の仕組みづくりなどの支	わらず、それぞれの事			
		づけ、その支援を行		援を行っているか	業におけるセンター			
		う	В	生活支援コーディネーター・就労的活動	の役割を明確にし、適	・生活支援体制整備事業による実施か、また、どこが開	前年度実績	
				支援コーディネーターや協議体とセンタ	切に事業推進するた	催しているかは問わない。		
				一の連携・調整が図られるよう、連携の	めに支援できている	・生活支援コーディネーターや就労的活動支援コーディ		
				ための会議等の開催といった情報共有の	かを評価する。	ネーターがセンターに配置されており、センター職員		
				仕組みづくりなどの支援を行っているか		と当該コーディネーターとが連携する体制が取られ		
						ている場合にも、項目を満たしているものとして取り		
						扱う。		
			С	認知症初期集中支援チーム、認知症地域		・認知症総合支援事業による実施か、また、どこが開催	前年度実績	
				支援推進員またはチームオレンジコーデ		しているかは問わない。		
				ィネーターとセンターとの連携・調整が		・認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員ま		
				図られるよう、連携のための会議等の開		たはチームオレンジコーディネーターがセンターに		
				催といった情報共有の仕組みづくりなど		配置されており、センター職員と当該チーム、推進員		
				の支援を行っているか		またはコーディネーターとが連携する体制が取られ		
						ている場合にも、項目を満たしているものとして取り		
						扱う。		
			D	センターが行う包括的支援事業の充実の		・在宅医療・介護連携推進事業による実施か、また、ど	前年度実績	
				ために、医療関係者とセンターの合同の		こが開催しているかは問わない。		
				事例検討会や講演会等の開催または開催		・認知症初期集中支援チームと合同で開催したものも含		
				支援を行っているか		む。		

24	2	センター指標の	センター指標の「8.包括的支援事業(社会保障充実分)」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が	評価実施年	_
		「8.包括的支援事	設定しているか	の4月末時	
		業(社会保障充実	→ 設定している場合、具体的に指標を記入()	点の状況	
		分)」に関するアウ			
		トプット指標また			
		は中間アウトカム			
		指標を市町村が設			
		定する			